

平成30年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
主管課	都市政策部 道路課	評価責任者	櫻井 進一	
		評価日	令和元年5月29日	
関連課	危機管理防災課、都市計画課			
目標	広域交通、市内交通の円滑化や災害時の安全性の確保を目指し、幹線道路や身近な生活道路の整備を計画的に進めます。			
施策目標の実現に向けた取組	（１）道路交通体系の充実 ○安全で快適な道路環境の確保に向け、広域幹線道路の整備については国や県、埼玉県警察、関係市町に積極的に働きかけます。また、市内幹線道路を計画的に整備します。 ○生活道路については、日常生活の利便性や安全性の向上を図るため、道路改良を進めるとともに、緊急車両の活動に支障がなく、災害時に迅速に避難できるよう計画的に整備します。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	幹線道路整備延長					
		説明	市内を走る幹線道路の延長、安全で快適な道路整備を行う指標					
		単位	m					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	13,972	13,972	14,112	14,312	14,512	14,530
	指標2	実績値	13,880					
		指標名	狭隘道路対策延長					
		説明	市内の狭あい道路の対策延長、日常生活の利便性・安全性の向上を図る指標					
		単位	m					
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	指標3	目標値	2,132	2,167	2,192	2,254	2,271	2,288
		実績値	2,048					
		指標名						
		説明						
		単位						
	指標4	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
		指標名						
		説明						
	指標5	単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
		指標名						
	指標6	説明						
		単位						
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	600,817	871,488				
	人件費	143,604	122,547				
収入	特定財源	224,504	242,786				
	一般財源	519,917	751,249				

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	幹線道路整備事業	上沢勝瀬線の整備に向けて、用地取得を行う。	上沢勝瀬線の用地買収及び物件補償を行い、更地にし、立ち入られないよう安全対策を実施した。	道路橋りょう新設改良事業 上沢勝瀬通り線整備事業
取組②	狭隘道路対策事業	ふじみ野市道の狭隘対策事業として、歩道整備や待避場所の整備を行う。	市道D-133（7-159）号線の歩道整備工事のほか、市道D-144（7-168）号線の待避場所の整備を実施した。	道路橋りょう新設改良事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	幹線道路整備につきましては、用地取得が必要となる事業であることから、地権者の意向を確認しながら進めていくため、計画とおりに進捗が進まない場合があります。引き続き、地権者のご理解とご協力を得ながら用地取得に努めます。 狭隘道路対策につきましては、地権者のご理解とご協力を得られたことから、市道D-133号線に歩道を117m、市道D-144号線に待避場所を25m整備いたしました。引き続き、地権者のご理解とご協力をいただき、安全に機能する道路の整備に努めます。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の成果	
効果が得られている	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等管理事務	前年度の方向性	
			統合	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 01土木総務費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～	評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法第32条、同法第28条、同法第16条		
事務事業の内容	事務事業の 目的	市道に工作物、物件などを設ける者に対し、指導、許可、指示を行い、占用物件を適正に管理する。 市で管理している道路線について、道路法第28条に基づき、道路台帳を整備し保管する。 土地分筆登記等に伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく、境界証明書を発行する。		
	事務事業の 経緯	道路法第32条の規定に基づき、道路占用許可申請の事務手続きを行っている。 県の指導により、昭和59、60、61年度の3カ年で、地方交付税の基礎数値資料として作成することとなり、昭和62年度以降は毎年度、新規路線は道路台帳を整備し、寄附採納等を受けた場合には修正を行っている。また、土地分筆登記等に必要な官民境界の確定事務を行っている。		
	事務事業の 概要	道路法第32条の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする者に対し、必要な許可条件を付して許可を与え、占用者から占用料を徴収している。 道路法第28条に基づき、道路管理者は、市で管理する道路線について、道路台帳を整備し保管する。 土地分筆登記に伴う官民境界の確定のほか、道路台帳に基づく、境界証明書の発行する。 道路広域行政に関する事務のほか、ボランティア団体の活動支援を行っている。		
	平成30年度の 主な取組	占用工事による影響範囲を含めて本復旧の指示をした。また、必要に応じて占用者と立会い工事後の苦情の抑制を図った。また、道路占用料のほか、法定外公共物の使用料の単価の改正を行った。 道路用地の帰属、寄附のほか、官民境界の確定により、道路法第28条の規定に基づき、道路台帳を新規に整備し、また、修正業務を行った。 交付税等の基礎数値資料及び道路施設現況調査資料の作成を行った。 土地分筆登記等に伴う官民境界の確定、道路台帳に基づく、境界証明書の発行を行った。 道路広域行政の各協議会の活動への協力のほか、研修会等に参加し職員の知識向上を図った。 官民が連携し、快適で美しい道路環境づくりの推進を図った。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	2.40	3.20
		人件費	5,699	19,430	25,907
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.50	0.50
		人件費	0	1,841	1,841
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	2.00	2.00
		人件費	0	8,473	0
	人件費計		5,699	29,744	27,748
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	8,473	8,978
	需用費		236	667	798
	委託料		0	6,431	14,726
	使用料及び賃借料		201	2,827	2,769
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	133	124
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		1,614	3,069	3,400
支出合計			7,749	42,871	58,543
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,293	16,697	30,769
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	646	21	26
	一般財源		5,810	26,153	27,748
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			51	229	241

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	道路占用申請件数		
	説明	占用物の老朽化により、更新が必要となるため、申請が増える予定。		
成果	単位	件		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	550	550	550
	実績値	556	488	
指標 2	指標名	市道の実延長		
	説明	開発道路及び私道採納により台帳整備していく必要がある。		
成果	単位	k m		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	297	298
	実績値	0	297	
指標 3	指標名	境界証明件数		
	説明	土地分筆登記、土地の売買に必要な証明となる。		
成果	単位	件		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	150	150
	実績値	0	148	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	道路法の規定に基づき、道路管理者として道路を占用しようとする占有者に対し、必要な許可条件を付して、許可を与え、占用料の徴収している。毎年度、当初に、各占有者から年間工事予定箇所を提出させ、工事箇所が重複する箇所については、工事時期を調整させるための道路占有者会議を開催している。占用工事の本復旧時には、必要に応じ占有者と立会いをし、占用工事による影響範囲までの本復旧を支持し、苦情の抑制を図っている。 「平成30年度占有者会議」 平成30年5月9日（水）10時から開催 民間開発による道路の帰属、私道寄附採納、用地買収によって、市の所有となった道路用地について道路法の規定に基づき、道路台帳の整備、修正を行っている。道路台帳を整備することにより、道路管理台帳として活用することができる。また、地方交付税、道路施設現況調査等の基礎資料ともなる。 「30年度 道路台帳補正委託業務」 上福岡地域 新規 0.47 km 大井地域 新規 0.32 km 土地分筆登記、土地売買に伴って、官民境界の確定が必要なことから、境界確認業務、境界証明書の発行を行っている。 広域行政の協議会の研修会等に参加することにより、職員の知識の向上を図り、他の行政担当者との繋がりを持つことで、身近な課題等の解決に向けて相談が容易となり、事務の効率化も図れる。 「協議会」 30年度末 6協議会 官民が連携して、快適で美しい道路環境づくりを推進し、市が管理する道路をボランティアで清掃活動、美化活動を行っていただいている。市では、認定団体に対して、ゴミ袋・軍手等を支給し、団体が収集したゴミ等を回収している。 「道路サポーターズ団体」 30年度末 10団体
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路法の規定に基づき、道路管理者として、適正に市道を管理するために、必要な事務であるため
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路台帳統合事務	前年度の方向性	
			完了	
重点プロジェクト				
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 01土木総務費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成26年度～平成30年度	評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の 目的	現在、旧市町の様式で管理している道路台帳を統合する。		
	事務事業の 経緯	旧大井地域と旧上福岡地域での道路台帳の管理方法が異なるため、平成26年度から平成30年度までの5ヶ年で統合作業を実施する。		
	事務事業の 概要	東日本大震災で動いてしまった基準点の測量（改測及び新設）を実施し、道路境界の再測量を行う。また、現在の台帳は旧上福岡地区は電子データ、大井地区は紙ベースの台帳となっているので、電子データで統一を図る。		
	平成30年度の 主な取組	平成28、29年度で実施した道路現況測量に基づき、道路台帳平面図をデータ化し、パソコンでの管理ができるようシステム構築を図った。そのほかに、上・下水道管の埋設状況、境界証明書等の資料も電子化し、道路台帳平面図と一括して管理ができるシステムの構築を図った。 また、道路台帳を統合したことから、道路台帳平面図のほか、官民境界を確定するために必要な図面を交付する手数料を平成31年4月1日から徴収できるよう「ふじみ野市手数料条例」の一部の改正を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.50	0.00
		人件費	9,769	12,144	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		9,769	12,144	0
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		0	0	0
	委託料		148,586	26,492	0
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		0	0	0
	支出合計		158,355	38,636	0
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		158,355	38,636	0
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			1,390	338	0

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	総事業費に対する単年度の割合		
	説明	総事業費 変更【543,300千円】（出来形 H29まで 465,838千円） 変更【492,330千円】（出来形 H30まで 492,330千円）		
活動	単位	%		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	75.60	100.00	0.00
	実績値	85.74	100.00	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	旧上福岡地域は電子データ、旧大井地域は紙ベースで、道路台帳の管理方法が異なっているため、平成26年度から5ヵ年で道路台帳の統一を図るための事業である。 簿冊管理（紙データ）から電子データでの道路台帳を統一管理することで、窓口業務のスリム化、効率化を図り、対応時間の短縮を図るものである。 H26年度 業務委託内容 2級基準点（新点）50点、2級基準点（改測）32点、3級基準点（新点）246点 4級基準点（新点）740点、4級基準点（改測）270点 H27年度 業務委託内容 4級基準点（改測）156点、4級基準点（新点）4,192点、 街区補助点（改測）201点 H28年度 業務委託内容 市内全域の道路現況測量業務 測量延長（市内全域） 125.11km H29年度 業務委託内容 市内全域の道路現況測量業務 測量延長（市内全域） 165.89km H30年度 業務委託内容 不調及び幅員不足の道路境界確認 73,870㎡、 道路台帳平面図作成 新規0.12km、修正0.31km 道路台帳平面図のシステム化、境界査定データ作成、道路借用地データ作成、道路境界証明データ作成、境界立会承諾書データ作成、道路情報データ作成、上・下水道管理設台帳データの作成をした。 この事業により、災害等で官民境界等が亡失した場合、座標系を世界測地系に変換したことから、復元も容易である。
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	平成31年4月1日から道路台帳システムを活用できるようにしたことから、当該事務事業は完了したものである。
中長期的方向性	
完了	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路舗装補修事業	前年度の方向性	
			継続	
重点プロジェクト		美しくにぎわいのあるまちプロジェクト		
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー		
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～	評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、道路構造令		
事務事業の内容	事務事業の目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路・水路・橋梁等の補修を計画的に行うことでより快適な道路網を築く。		
	事務事業の経緯	道路法により市が管理する道路については、年3回の一斉点検、道守からの情報、議会及び市民からの要望に基づき、損傷箇所や危険箇所を把握し、損傷及び老朽化の著しい道路・水路等の修繕・補修工事を計画的に実施する。また 市が管理する橋梁については、計画的に修繕を実施している。		
	事務事業の概要	破損及び老朽化の著しい道路・水路・橋梁等の修繕・補修工事を実施する。バリアフリー対策として、街路樹の根による歩道舗装隆起部分の補修を実施する。		
	平成30年度の主な取組	道路の老朽化に伴うクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を確保した。歩道部の街路樹の根による段差を解消して、歩行者等の安全な通行を確保した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	3,80	2,30	1,80
		人件費	30,936	18,621	14,573
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50	1.00
		人件費	1,868	1,841	3,681
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		32,804	20,462	18,254
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		35,531	40,183	40,197
	委託料		8,904	0	22,240
	使用料及び賃借料		1,468	1,561	1,733
	工事請負費		116,051	219,495	113,632
	負担金、補助及び交付金		0	0	2,322
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		0	0	0
支出合計			194,757	281,701	198,378
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	16,955	24,083	20,501
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	36,300	113,600	10,800
		基金	0	0	0
		その他	0	646	0
	一般財源		141,502	143,372	167,077
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			1,242	1,255	1,454

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	工事延長		
	説明	市が管理する道路修繕延長実績を毎年把握する。		
活動	単位	m		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	2,000	2,000	2,000
	実績値	1,124	1,612	
指標 2	指標名	修繕件数		
	説明	計画的に老朽化した道路を修繕することで、緊急的な道路等の修繕箇所数を減らし市民の安全を確保する。（H28年度から指標設定）		
活動	単位	件数		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	50	50	50
	実績値	36	72	
指標 3	指標名	道路舗装修繕面積（令和元年度から指標）		
	説明	市が管理する道路舗装修繕面積実績を毎年把握する。（令和元年度からの指標）		
活動	単位	㎡		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	0	6,000
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	道路舗装等修繕 東部地域 41件 西部地域 30件 緊急修繕 1件 使用料及び賃借料 土木積算システム借上げ料 概要 積算システムを使用することにより、設計業務の効率化を図る。 賃借料 1,561,248円 工事請負費 市道改修工事等 概要 道路の老朽化に伴う舗装のクラックによる振動被害や歩行者の躓きを防止し、沿線住民の快適な生活環境の保全及び道路網の安全を図るため、道路改修、修繕を実施する。 市道第98号線舗装修繕工事外14路線・道路舗装修繕工事（単価契約） 66箇所 工事内容 道路舗装修繕工事外 工事請負額 103,636,257円 工事内訳は、内部資料参照 バリアフリー関係 概要 街路樹の根が樹木の成長とともに隆起している箇所を継続的に修繕することにより、歩行者の安全な通行を確保する。 市道第5-105号線外、市道第5-139号線樹木隆起箇所修繕工事 工事内容 施工 15箇所 工事請負費 2,209,680円 福岡橋耐震補強工事（継続） 工事概要 福岡橋下部工（橋脚）耐震補強工事 工事請負額 83,700,000円（通次繰越） 工事概要 福岡橋耐震補強工事 工事請負額 29,949,360円

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路は、市民生活に欠かせないものであることから、適切な維持管理を行っていく必要がある。クラック等の損傷は早期に部分的な補修や、計画的に道路舗装修繕工事を実施することで、市民の安全・安心の確保ができ、また、舗装の長寿命化を図るためにも必要な事業であるため
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路街路樹緑地帯管理事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21～		評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法			
事務事業の内容	事務事業の 目的	歩道等に植えられている街路樹を計画的に適正管理することにより、良好なまち並景観と快適な道路環境を保全する。			
	事務事業の 経緯	都市計画道路等の築造、土地区画整理事業により造られた道路の歩道等には、潤いとまち並景観の向上を図るため、各所に渡って街路樹が植えられている。街路樹は毎年枝が成長するため、枝を整枝することで良好なまち並景観の保全を図る。			
	事務事業の 概要	市が管理に係る道路に植えられている街路樹の管理を継続して行う。さらに、植えられてから経年経過した老木の樹木診断を行い、適正管理することで、市民の安心・安全の確保を図る。			
	平成30年度の 主な取組	歩道等に植えられている街路樹の剪定及び老木の樹木診断を実施して、必要に応じては伐採を行い、良好な景観と快適な道路環境を保全した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	2.80	2.30
		人件費	5,699	22,669	18,621
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.00	0.50
		人件費	1,868	0	1,841
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		7,567	22,669	20,462
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		121	231	326
	委託料		28,464	34,258	37,123
	使用料及び賃借料		47	51	0
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		38	22	65
	支出合計		36,236	57,230	57,975
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	12	12
	一般財源		36,236	57,218	57,963
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			318	501	504

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	街路樹剪定業務委託		
	説明	市が管理する道路等に存する街路樹を適正に管理し、毎年剪定、伐採本数の実績を把握することで計画的に実施する。		
活動	単位	本		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	668	668	668
	実績値	461	556	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	道路街路樹緑地帯管理事業は、市が管理する道路・歩道等に存する街路樹及び緑地帯を適正に管理する事業である。 街路樹については、街路樹種ごとの剪定時期び剪定の程度を把握し、樹形を維持する事を軸に計画的に剪定を実施した。また、緑地帯については、低木の剪定、草取り等を実施し、良好な景観と快適な道路環境を整えた。 近年は、街路樹の老木化の進行が課題となっており、枯損による倒木の恐れを未然に防止するため、樹木医による樹木診断を行い、枯損木の伐採を実施し、道路を安心安全に利用できるようにした。また、台風、強風による倒木についても道路交通の妨げにならないよう、早急に対処した。 平成30年度は、高木剪定が529本、樹木診断が13本、枯損木及び台風、強風による伐採が27本本実施した。
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	道路の景観を保ちつつ、成長した枝葉が起因する信号機や道路標識の見通しの確保、害虫駆除、落葉対策等を講じるために必要な事業であるため
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路等営繕保守事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 01道路維持費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～		評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、ふじみ野市法定外公共物管理条例			
事務事業の内容	事務事業の 目的	生活道路の維持、補修また、水路敷等の維持管理を行い市民の安心・安全を確保する。			
	事務事業の 経緯	市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持及び安全を確保している。			
	事務事業の 概要	市道、水路敷等の維持、補修を行う。また、各課からの業務依頼を受けて公共施設の維持補修を行う。			
	平成30年度の 主な取組	台風前の道路側溝等の清掃、台風時の土嚢設置、台風後の路面清掃、路面凍結対策、市内の道路の簡易的な補修のほか、水路敷、公園などの草刈りを実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	3,80	3,80	3,80
		人件費	30,936	30,765	30,765
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		30,936	30,765	30,765
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		3,555	3,066	3,878
	委託料		36,145	41,017	41,118
	使用料及び賃借料		2,396	4,782	4,875
	工事請負費		0	0	0
	負担金、補助及び交付金		51	500	507
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		11,262	50,309	2,134
支出合計			84,345	130,439	83,277
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		84,345	130,439	83,277
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			740	1,142	725

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	苦情対応件数		
	説明	修繕等の対応の必要があるため		
活動	単位	件数		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	500	500	500
	実績値	708	709	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	道路等営繕保守事業は、市内約29.7kmの市道や水路の管理を実施しているものである。管理は、職員による簡易な補修及び路面清掃や側溝清掃、道路用地に係る除草等の維持管理を実施するものである。台風の上陸が予想される前に側溝清掃を行い、台風後にも路面及び側溝清掃を実施した。また、冬季における路面凍結対策、近年では、道路の植樹マスのほか水路敷など生える草の生育が早くなっていることから、除草の回数を増やし対処したものである。 市道の管理者として、軽微な道路施設の補修や応急修理を行い生活環境の維持のほか、安全安心な道路を確保した。また、職員で対応できない市民の苦情要望については、迅速に対応できるよう修繕契約業者との連携も図ったものである。
	平成30年度営繕保守委託の実績 道路等営繕保守（東部地区） 件数 86件 道路等営繕保守（西部地区） 件数 73件

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	修繕営繕ともに複数の業者と単価契約を締結することにより、市内全域をカバーし、迅速な維持管理の対応が可能となるため
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		道路橋りょう新設改良事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 02道路橋りょう費 02道路新設改良費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～		評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		道路法、道路構造令			
事務事業の内容	事務事業の 目的	市民等が安全で安心して道路を通行することができるよう、道路の新設・拡幅・歩道の整備、側溝の整備を計画的に行う。また、渋滞解消のための交差点改良も計画的に実施する。			
	事務事業の 経緯	道路は国の産業基盤の骨格を有するもので、道路新設・拡幅改良、歩道整備及び側溝未整備路線の整備を計画的に行うことで、交通の利便性を図るとともに市民生活の向上に資する。			
	事務事業の 概要	総合振興計画3か年実施計画、都市計画マスタープランに基づき道路整備計画を作成し、計画的に道路改良工事等を行う。			
	平成30年度の 主な取組	安全で快適な住環境を充実させるため、歩道整備や道路改良工事を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	1.90	1.90
		人件費	9,769	15,382	15,382
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		9,769	15,382	15,382
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		45	64	81
	委託料		1,287	7,113	22,098
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		35,421	54,275	46,934
	負担金、補助及び交付金		376	532	7,082
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		9,727	4,706	125,743
	支出合計		56,625	82,073	217,320
財源内訳	特定財源	国庫支出金	4,521	29,832	32,900
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	3,203	3,522
		地方債	0	0	21,000
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		52,104	49,038	159,898
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			457	429	1,391

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	改良整備延長		
	説明	道路を拡幅整備し、側溝等を布設して道路を築造する。 (平成30年度までの指標とする。)		
活動	単位	m		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	200	200	0
	実績値	211	510	
指標 2	指標名	幹線道路整備延長		
	説明	幹線道路整備延長の実績を毎年、把握する。 (平成31年度からの指標とする。)		
活動	単位	m		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	0	14,140
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	狭あい道路対策延長		
	説明	狭あい道路対策延長の実績を毎年、把握する。 (平成31年度からの指標とする。)		
活動	単位	m		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	0	0	2,048
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	■道路新設改良工事（業務委託・工事請負・用地取得・補償費等） 概要 安心安全で快適な住環境を充実させるため、歩道整備や新規に設置する道路の整備を計画的に実施する。 ●工事請負費 道路新設改良工事 市道第4-37号線側溝整備工事 外 5件 工事請負額 50,236,200円 工事内訳は、内部資料参照 道路反射鏡設置工事 新設 6基 工事請負費 3,164,400円 道路照明灯設置工事 新設 1基 工事請負額 421,100円 ●隅切用地・歩道用地取得 4筆（65㎡）用地取得費 3,332,413円 道路新設改良工事により、道路排水機能の向上を図り、また、歩行者等の安心安全を確保した。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	安心安全で快適な住環境を充実させるため、計画的に歩道整備や新規に設置する道路の整備が必要であるため
中長期的方向性	
継続	

平成30年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		上沢勝瀬通り線整備事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策 体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	25 道路 ー安全に機能する道路交通体系の充実を図りますー			
予算費目		一般会計 08土木費 04都市計画費 01都市計画総務費			
所管部課		都市政策部 都市計画課		評価責任者	小川尊志
事務事業期間		平成25～		評価日	平成31年4月5日
個別計画 根拠法令・条例等		都市計画法、道路法			
事務事業の内容	事務事業の 目的	都市計画道路上沢勝瀬通り線は富士見市、ふじみ野市の2市にまたがり都市計画決定されており、ふじみ野駅東側地域の幹線道路であることから、当該路線の整備を推進する。市域内の未整備延長約400mのうち、市道部分約140mの整備を進め、交通安全の確保と交通利便性の向上を図る。			
	事務事業の 経緯	県道東大久保ふじみ野線と県道ふじみ野朝霞線を結び、ふじみ野駅東口に接続する道路として早期交互通行が望まれていることから整備を行うものである。			
	事務事業の 概要	都市計画道路上沢勝瀬通り線の整備を進める。 ・用地取得対象箇所：7箇所 ・道路設計			
	平成30年度の 主な取組	○用地買収 平成29年度に契約した1件について、平成30年度中に引き渡しを受けた。 また、平成30年度にも1件の契約を締結し、引き渡しを受けた。 ○設計 警察協議での指摘事項に基づいて、計画図の修正を実施した。 ○工事 平成30年度中に引き渡しを受けた2件について、安全対策工事を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】			平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.80	1.40	1.00
		人件費	6,513	11,334	8,096
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.30	0.50
		人件費	747	1,104	1,841
	臨時・嘱託職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	人件費計		7,260	12,438	9,937
事業費	報酬		0	0	0
	賃金		0	0	0
	需用費		51	58	100
	委託料		4,521	2,036	13,000
	使用料及び賃借料		0	0	0
	工事請負費		0	1,488	1,500
	負担金、補助及び交付金		0	0	0
	扶助費		0	0	0
	その他事業費		137,919	95,449	354,005
支出合計			149,751	111,469	378,542
財源内訳	特定財源	国庫支出金	38,500	36,410	123,256
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	100,000	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源		11,251	75,059	255,286
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)			99	657	2,221

※報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	用地取得		
	説明	上沢勝瀬通り線事業用地の取得を行う		
活動	単位	件		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	1	3	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名	設計業務委託		
	説明	道路設計を行うための委託業務を発注する		
活動	単位	発注件数		
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	＜平成26年度＞ - 平成26年11月に1件の地権者と契約を締結した。 ＜平成27年度＞ - 平成26年度に契約を締結したものについて、平成27年7月に移転が完了した。 - 平成26年度に契約を締結した事業地区北側角地の交差点部の安全対策工事を施工した。 - 用地測量、物件補償調査を12月に完了させ、平成28年2月に事業地区東側の地権者と契約を締結した。 ＜平成28年度＞ - 平成27年度に契約を締結したものについて、平成28年6月に移転が完了した。 - 取得予定箇所の地権者と交渉を進めたが合意に至らなかった。 - 上記のことから、他の地権者との交渉に備え物件調査業務委託を発注した。 - 物件調査を行った地権者とは平成29年度に契約することで合意した。 - 埼玉県、埼玉県警と県道の交差点形状について協議を行うための委託業務を発注した。 ＜平成29年度＞ - 平成28年度に合意していた地権者と交渉を進め、平成29年12月に契約を締結した。 - 平成30年度に取得を予定している2人の権利者と交渉を行い、1件の地権者と合意することができた。 - もう1件の地権者については、最後に契約するという条件で合意することができた。 - 埼玉県、埼玉県警と県道交差点について協議を行い、課題を出された。 - 上記について、課題を解決するための委託業務を発注した。 ＜平成30年度＞ - 平成29年度に契約を締結したものについて、平成30年9月に移転が完了した。 - 平成29年度に合意した地権者と平成30年5月に契約を締結し、平成30年9月に移転が完了した。 - 平成30年度に引き渡しを受けた土地について、安全対策工事を施工した。
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	残り3件の地権者から用地買収をしたのちに、交通の安全かつ、利便性を考慮した道路整備を実施する予定。
中長期的方向性	
完了	